

受託団体名

国立大学法人岩手大学

事業実績報告書

(1) 講習の実施方法： 対面講習 ・ 通信講習 (不要なものを二重線で消す)

(2) 本事業における目標等

平成 30 年度までの本事業では、受講対象は、岩手県内外からの特別支援学校教諭・講師のほか、小・中学校等の通常学校教諭・講師が多く受講している。この動向を踏まえ、特別支援学校教諭・講師の専門性向上に加え、通常学校教諭・講師が特別支援学校教諭としての専門性を習得し、通常学級及び特別支援学級において、専門性を発揮できることを目標とする。

(3) 事業の実施日程

事業項目	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
文部科学省へ課程認定申請 教育委員会への協力依頼 講習案内の送付 岩手大学免許法認定講習実施 教育委員会への実施報告、 今後の開設についての協議							○	○	○	○	○	

(4) 認定講習・公開講座・通信教育の概要

認定講習・公開講座 通信教育名称	概要 講師 職・氏名	期間	定員	中心となる領域	時間数	一・二種 専修の別 施行規則第 7条該当欄
			受講希望者数 受講者数 (うち単位認定者数)	含む領域	単位数	
平成31年度岩手大 学免許法認定講習 特別支援教育概説	自立と社会参加を見据えて、支援の必要な幼 児児童生徒の教育的ニーズに応じた指導を 提供するという特別支援教育の目標をふま えて、その制度や教育課程等を中心に、経緯 や今日的課題についても概説する。 岩手大学 教授 柴垣 登	令和元年 12月2 4日～1 2月25 日	50 34 34(34)		15 1	一・二 1欄
平成31年度岩手大 学免許法認定講習 知的障害教育指導 法	知的障害教育について、学習指導要領に基づ く授業づくりについて概説する。その上で 「各教科等を合わせた指導」における学習指 導案並びに個別の指導計画の作成について 詳説する。 岩手大学 准教授 佐々木 全	令和元年 12月2 6日～1 2月27 日	50 42 41(41)	知的障害 者	15 1	一・二 2欄

平成31年度岩手大学免許法認定講習発達障害の理解と指導	自閉症や注意欠陥多動性障害、学習障害など発達障害の特性理解と特性に応じた指導の工夫について解説する。特に、通常の小中高等学校における子ども達を中心として、その特性理解とその方法、指導への活用について詳説する。	令和2年1月6日～1月7日	50 43	重複・LD等領域	15	一・二
	岩手大学 准教授 鈴木 恵太		43(43)			

(5) 事業の実施結果

受講者の振り返りからは、障害のある子どもの特性について理解することができた、特性に応じた指導／支援など関わり方の知識や技能を身につけることができたといった意見が多く聞かれ、障害のある子どもの理解と教育に関するニーズに応じることができたものと考えられる。これらを踏まえ、今後も受講者のニーズを把握しつつ講習内容の充実を図りたい。

なお、「特別支援教育概説」は定員に対し70%の申し込み率であった。この背景として開講日が2学期終業式前の平日（12月24-25日）であったことが考えられる。受講者振り返りからは日程の関係で受講できない者がいたとの意見もみられている。本講座（第一欄）は県主催の認定では開講されないことから今後も継続開講する必要がある。そこで、次年度は冬休み期間中（12月末）に開講することとして受講者の利便性に配慮する。

(6) 事業の実施成果

昨年度に引き続き、受講者の利便性に配慮して、講習期間について冬休み期間中を中心に、可能な限り連続するように設定した。受講者は県内を中心に県外からの参加もみられ、また複数の講習を受講した者もみられたことから、本講習における受講者への配慮は十分に効果があったものと考えられる。

また受講者は、特別支援学校所属の教諭や講師のほか、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に所属する教諭や講師、支援員などであった。本講習は特別支援教育に関する概説、知的障害及び発達障害の特性と指導という幅広い内容であり、受講者の振り返りからは肯定的な意見が多く聞かれたことから、本講習の内容は受講者の多様なニーズに応えられるものであったと考えられる。

(7) 今後の改善事項と方策

本講習の参加者は特別支援学校や通常の学校から教諭や講師、支援員など多様な背景を持ち、各々が障害のある子ども達の教育実践に従事していた。ここから、講習に対する幅広いニーズを踏まえた内容を構成することが求められる。本講習の担当教員は、岩手県内の特別支援学校をはじめ幼稚園、小学校、中学校、高等学校における教育実践活動に継続的に関わっている。次年度以降も、これら専門性と経験を活かし、県内の教育ニーズに応じた講習内容を構成することに努める。